

個別施設計画(素案)

策定年月 | R2.1

施設名	水産研究所		所在地	瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6									
敷地面積	26,425.00 m ²		棟数	14 棟 (計画記載対象 11 棟)									
延床面積	10,498.10 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象									
設置目的	本県漁業の発展とその活性化を図るため、資源の維持培養や養殖業の振興を目的とし、漁場の改良・造成技術の開発及び海洋湖沼河川環境保全、資源管理型漁業及び栽培漁業の推進や増養殖技術並びに水産情報の提供や水産関連技術の普及、指導に努める。												
【想定される自然災害】													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">予想震度</td> <td style="text-align: center;">6弱</td> <td style="text-align: center;">津波</td> <td style="text-align: center;">2.8m</td> <td style="text-align: center;">浸水</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.01m以上 2.0m未満</td> </tr> </table>							予想震度	6弱	津波	2.8m	浸水	0.01m以上 2.0m未満	
予想震度	6弱	津波	2.8m	浸水	0.01m以上 2.0m未満								
建築規制	都市計画区域外												
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 (A重油)									
	464,371 kwh	89 m ³	5,735 m ³	47,000 0									
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし 敷地内貸付地なし												

1 施設内建物の概況

名称	管理棟	研究棟	藻類生産棟(A棟)
築年(西暦)	1979年	2011年	1978年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階
建築面積	381.48 m ²	581.28 m ²	795.20 m ²
延床面積	381.48 m ²	1,026.00 m ²	795.20 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 1室 所長室 1室	実験・分析室 9室 会議室 1室 資料室・倉庫外 5室	種苗生産施設(藻類生産)
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備	給排水設備
利用状況	高	高	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	種苗生産棟(B棟)	餌料培養棟(C棟)	種苗生産棟(D棟)
築年(西暦)	1978年	1978年	1982年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	1,205.50 m ²	795.20 m ²	660.00 m ²
延床面積	1,205.50 m ²	795.20 m ²	660.00 m ²
主要な用途 (室名等)	種苗生産施設(魚類・甲殻類生産)	種苗生産施設(餌料培養)	種苗生産施設(魚類・甲殻類生産)
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備	給排水設備	
利用状況	低	低	高
耐震性 ※1	無	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	不適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	外壁 給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	餌料培養棟(E棟)	親魚管理棟(F棟)	種苗生産棟(G棟)
築年(西暦)	1990年	1991年	1992年
構 造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨 造 1階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	440.66 m ²	690.00 m ²	1,531.51 m ²
延床面積	917.32 m ²	690.00 m ²	3,161.26 m ²
主要な用途 (室名等)	種苗生産施設(餌料培養) 検鏡室 1室	種苗生産施設(親魚養成)	種苗生産施設(甲殻類・魚類生産) 実験室 1室 学習室 1室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 昇降機
利用状況	高	低	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	空調設備	該当なし	空調設備 給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	機械室	ろ過・貯水槽
築年(西暦)	1977 年	1976 年
構 造	鉄筋コンクリート造 1 階	鉄筋コンクリート造 1 階
建築面積	114.00 m ²	433.20 m ²
延床面積	114.00 m ²	433.20 m ²
主要な用途 (室名等)	給気・揚送水施設 ブロー室 1室 ポンプ室 1室	海水ろ過槽 貯水槽
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	高	低
耐震性 ※1	—	—
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

- ・A～D棟は統合した施設に建替する。
- ・老朽化が進んだ建物は、修繕・改修を行い使用を継続する。
- ・機械室、ろ過・貯水槽は、劣化が著しく活用困難なため取り壊す。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
管理棟	<ul style="list-style-type: none">・屋根、外壁の定期更新を実施する。・電力設備(発電設備)を更新する。・照明設備(蛍光灯)をLED化する。
研究棟	<ul style="list-style-type: none">・照明設備(蛍光灯)をLED化する。
藻類生産棟(A棟)	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでいるため、A棟、B棟、C棟、D棟を統合した施設に建替する。
種苗生産棟(B棟)	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでいるため、A棟、B棟、C棟、D棟を統合した施設に建替する。
餌料培養棟(C棟)	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでいるため、A棟、B棟、C棟、D棟を統合した施設に建替する。
種苗生産棟(D棟)	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでいるため、A棟、B棟、C棟、D棟を統合した施設に建替する。
餌料培養棟(E棟)	<ul style="list-style-type: none">・屋根、外壁、水槽の改修と空調設備の定期更新を実施する。・照明設備(蛍光灯)をLED化する。
親魚管理棟(F棟)	<ul style="list-style-type: none">・予防保全を図る。
種苗生産棟(G棟)	<ul style="list-style-type: none">・屋根、外壁、水槽、建具の改修と空調設備の定期更新を実施する。・照明設備(蛍光灯)をLED化する。
機械室	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでおり、今後利用見込みもないため取り壊す。
ろ過・貯水槽	<ul style="list-style-type: none">・老朽化が進んでおり、今後利用見込みもないため取り壊す。

3. 施設全体のスケジュール (概要)

- 1 設備等更新
劣化が進んでいる設備等について順次更新を行う。
- 2 建替
(A～D棟) 2020年度 基本・実施設計 2021～2022年度 施工
- 3 除却
(機械室、ろ過・貯水槽)

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
管理棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				屋根・外壁 ・スリット		照明設備	非常用発電設備			
研究棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)								照明設備		
A棟、B棟、 C棟、D棟	建替				基本・ 実施 設計	施工 11 (受変電設備2含 む)					
藻類生産棟(A棟)	除却				設計 除却						
種苗生産棟(B棟)	除却										
餌料培養棟(C棟)	除却										
種苗生産棟(D棟)	除却						設計・除却				
餌料培養棟(E棟)	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)								屋根・外壁 ・水槽 空調設備 照明設備		
親魚管理棟(F棟)	予防保全			予防保全を図る。							
種苗生産棟(G棟)	設備等の 大規模改修							屋根・外壁・水槽 ・建具 2			
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)							空調設備		照明設備	
機械室	用途廃止・除却						設計・除却				
ろ過・貯水槽	用途廃止・除却						設計・除却				

4. 概算費用

・総額 15億円

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.10	受変電設備の更新について、管理棟の大規模改修→A～D棟の建替工事に変更